

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報

No.47

調査者	山本 周平、井澤 和夫、加藤 倫卓
情報ソースの刊行日	2020年5月14日
情報ソースの調査日	2020年5月15日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2020年5月22日
日本語タイトル	COVID-19 後のオーストリアにおける急性冠症候群による入院の減少： パンデミックは心臓に付随的損傷を引き起こす
情報ソース	Metzler B, et al. Decline of acute coronary syndrome admissions in Austria since the outbreak of COVID-19: the pandemic response causes cardiac collateral damage. Eur Heart J. 2020 May 14; 41 (19): 1852-1853.
情報のカテゴリー	心疾患全般
発信地域	ヨーロッパ(オーストリア)
DOI	10.1093/eurheartj/ehaa314
URL	https://academic.oup.com/eurheartj/article/41/19/1852/5820829?utm_medium=Email&utm_source=eTOC&utm_campaign=European+Heart+Journal
要約	<ul style="list-style-type: none"> 2020年3月2日から29日の期間(4週間)にオーストリアの17病院を対象とし、COVID-19が急性冠症候群(acute coronary syndrome: ACS)の診断・治療に及ぼす影響について後方視的に調査された。 3月の第1週目と第4週目との比較では、ACSによる入院患者数は相対的に39.4%減少した。 ST上昇型心筋梗塞(ST segment elevation myocardial infarction: STEMI)患者数は、3月の第1週目は94人、第2週目は101人、第3週目は89人、そして第4週目は70人であった。 非STEMI患者数は、3月の第1週目は132人、第2週目は110人、第3週目は62人、そして第4週目は67人へと減少していた。 統計上、オーストリアでは、月に約1,000人のACS患者が存在する。3月の第1週目から第4週目にかけてのACS患者総数は、725人であった。そのため、約275人の患者が治療を受けていなかったことになる。
最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか？	<ul style="list-style-type: none"> COVID-19は、ACSによる患者の入院率の低下と関連する。 自宅安静の指示、医療施設における感染リスクなどが、病院受診を妨げていた可能性がある。 COVID-19により引き起こされる、心臓に対する付随的損傷を最小限に抑える必要がある。